

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

地元・新潟で考える会結成 米坂線の早期復旧を

豪雨災害で不通 廃線を狙うJR東



11月26日、「米坂線の早期復旧と地域の活性化を考える会」が、米坂線の沿線住民を中心とする参加者65人で結成されました。米坂線は、山形県米沢市の米沢駅から新潟県村上市の坂町駅を結ぶJR東日本の鉄道路線です。昨年8月3日の豪雨災害によって米沢～坂町間(約90き)が寸断され、現在も今泉～坂町間(約68き)が不通でバス代行を行っています。

しかしJR東日本は1年4か月が経過しても、いまだに復旧工事を始めていません。災害をチャンスとばかり「復旧



には地元負担が必要。それが嫌なら廃線」とばかりの態度です。

JR東日本は内部留保を約2兆8千億円もため込み、そのわずか0.3割で米坂線復旧費用(86億円)がまかなえるのに、時間稼ぎをして地元のあきらめを誘っていると思わざるを得ません。

動労総連合・新潟は昨年来、沿線住民に「廃線反対の運動でJR東日本に早期復旧を迫ろう」と訴えてきました。今回、「考

える会」の結成となり、役員体制や活動方針などを決めました。今後、早期復旧を求める署名運動や、JR東日本や県知事、自治体への申し入れを行うことを決めました。

地域住民が主体に

他方、JR東日本は、新潟～秋田間を走る羽越本線については赤字でも廃線の対象から除外しています。一昨年9月に陸上自衛隊の輸送訓練が行われるなど軍事輸送のための線路として羽越線を位置づけていることを感じさせます。

一方でローカル線のスリム化を図り、他方で鉄道の軍事利用を進めることは許されません。